

⚠️ 走錨に起因する事故防止の徹底について ⚠️

苦小牧港について

苦小牧港付近海域における底質の大部分は『砂』及び『軽石』であり、錨かきが悪く、過去に数度の走錨を起因とする座礁事故が発生しています。

苦小牧港付近海域に錨泊する船舶は以下の事項を励行し、走錨防止に努めて下さい。

～船員の常務として～

- ・錨泊する際に安全を優先した錨地の選定
- ・常時適切な見張り及び船位の把握
- ・緊急時に備えた機関始動の準備
- ・最新の気象海象の入手と常時把握
- ・国際VHF(16ch)の常時聴取

早目の自主的な避難

苦小牧港においては、台風接近など荒天(強風)が予想される場合には、前日などの早い段階から、船舶等に対して「注意喚起」を行っています。

また、南寄りの風が風速15m以上連吹し、走錨の可能性があると判断する場合には、苦小牧港長から苦小牧港周辺海域に錨泊している船舶に対し港則法第39条第4項に基づき勧告(走錨注意情報)を発出しておりますが、

あらかじめ荒天が予想される場合は、走錨注意情報(勧告)の発出を待つことなく、時機を失せず早目に『自主的な避難』を行ってください。

平成29年11月発生

平成23年11月発生



過去、苦小牧港外において走錨に伴う乗揚海難が複数発生しています！



苦小牧海上保安署 TEL 0144-36-0118 海の事件・事故は118番